

# ハナバチの仲間

大きくて怖そうですが



クマバチ（体長約2cm）



マルハナバチの一種（体長約1.5cm）



ミツバチ（ミツバチもハナバチの一種です）

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生												
多い												

発生

多い

ハナバチの仲間は花粉や花蜜を餌にしており、大型のクマバチやマルハナバチ類がよく見られます。大きいうえに高い羽音をたてて飛ぶため、いかにも怖そうですが、性質はおとなしく、イタズラしなければ人を刺すことはありません。

## 生態

《クマバチ》花に集まる大きなハナバチです。初夏から秋にかけて見られ、6月頃にはフジの花によく集まります。体は黒色、胸に黄色の毛が密生しています。家屋の木材に穴を開け、巣を作ることがあります。

《マルハナバチ》クマバチより一回り小型で、やはり夏から秋に多く見られ、花に集まります。種類により黒、黄色、赤褐色などの毛で被われています。通常、土の中に営巣しますが、屋根裏や物置小屋などに巣を作ることがあります。

## 防除

人の出入りする場所に巣を作ったなどの、特別の場合以外、駆除の必要はありません。もし駆除する場合には通常<sup>びん</sup>の家庭用殺虫剤が有効ですが、花粉を媒介する益虫でもあるので、できるだけそっとしておきたいものです。

問い合わせ先